

事例・教材 お絵かき練習に役立ってしまったお人形作りのおもちゃ **kellner steck**

狙い・ターゲット： そろそろ人間の形描けても良さそうなのだけれど、いくらパパやママが見本を描いてあげてもまだまだお顔足人間を描いています。どうして???というお子さんにこんな方法も効果的でした、という教材をご紹介します！



使用教材

・ドイツ製。ケルナーステック社 (**kellner steck**)。

内容

- ・子どもが4才になっても人間を描くと、「なんか変」ってお悩みの親御さん。(私は、かわいいな～、と思ってそんな絵を見せられると『画伯ですね～』とか言っちゃうんですけど(^^))
ママは一生懸命「ooちゃんのお顔の下からすぐに足が生えてるかな?」「oo君のお手々は耳から出ているの?じゃあ、お耳はどこにあるの?」と言ってみたり、パパが見本の絵を描いて見せたりしているのに、胴体が省略される。どうしてでしょう?という質問も過去に複数回お受けしたことがあります。
- ・私も最初は人間の絵の見本を描いて見せたりしていました。でもママ達の言うとおりに、子どもはそれを見て同じようには描けません。そこで、人間を模型で作成してみることから始めました。模型と言っても上記のおもちゃです。
- ・ゴム性のジョイントを使って顔、胴体、手、足をつなげていきます。ゴムのジョイントは顔と胴体をつなげる部分は首に見えたり、肘や膝につければ関節に見えたりしてなかなか本格的です。
- ・人間のお顔だけではなく、熊やカエルなどもあるので、動物の身体はどうなっているのかな・・・なんて作っていくのも楽しいです。
- ・子ども達は夢中になってパーツをつなげていきます。平面のお絵かきとは違い、何故かみんな胴体を自然にくっつけているので驚きです。顔の耳の部分にジョイントをはめる穴がないので顔から手が生えている、ってことはありません。
- ・そしてどんな形をしているの?とって平面の紙に書いてもらおうとあら不思議!胴体が描けいてる、っていうことを何度も経験したので、ご紹介させていただきました。

方法 (補足)

・こちらのおもちゃは現在、ニキティキなどで入手可能ですが、これと同じものではなくても、代用品を作ることが出来ます。
手芸がお得意だったら、顔、胴体、手、足を分けて作ります。発達年齢がまだ低いお子さんには、スナップボタンなどで色分けして胴体の黄色のボタンは黄色のボタンがあるパーツ (例えば腕のパーツ) をくっつけていってもらおう、という方法もありますね。それともそれとも～粘土で形を作ってみるなどでも良いかも!?
今回は、教材云々より、お絵かきの前に立体制作を取り入れてみて!というご紹介でした。